

帝京大学における競争的研究費の直接経費から 研究以外の業務の代行に係る経費の支出に係る規程

(趣 旨)

第1条 この規程は、帝京大学（以下、「本学」という）において競争的研究費の直接経費の使途を拡大し、研究代表者（以下、「研究者」という）が担っている業務のうち授業の代行に係る経費の支出を可能とする制度（以下、「バイアウト制度」という）を導入する際に必要な事項を定めるものとする。

(目 的)

第2条 この規程は、バイアウト制度の運用に関し必要な事項を定めることにより、研究者の研究プロジェクトに専念できる時間の拡充が可能となり、もって本学の学術研究の発展に資することを目的とする。

(対象となる事業)

第3条 対象となる事業は、各競争的研究費のうち、各配分機関が各事業の性格を踏まえて決定した制度とする。

(要 件)

第4条 バイアウト制度の対象は、研究者が本来行う必要がある業務のうち授業の代行に限る。

2 授業の代行は、原則、半期あたり30回を上限とする。1回とは90分授業1回である。

3 経費の上限は、各競争的研究費の公募要領等において定められている額かつ研究の支障を来さない範囲とする。

4 授業を代行する者は、原則、非常勤教員とする。

(経費の算定基準)

第5条 代行に係る経費（料金）や算定基準については、帝京大学の給与規程の定めるところによるものとする。

(申 請)

第6条 研究者は、バイアウト制度の利用を希望する場合、所属長に相談し合意を得た上で、バイアウト制度の利用申請を行うものとする。

2 原則、バイアウト制度の利用申請を行う研究者は、前期に利用する場合は前年度の10月末日までに、後期に利用する場合は4月末日までに、バイアウト制度利用申請書を学長へ提出するものとする。

3 学長は、前項の申請内容に基づき、実施の可否について決定を行い、バイアウト制度利用申請結果通知書にて、申請者に通知するものとする。

(実 施)

第7条 バイアウト制度を利用する研究者は、研究活動等が円滑に実施されるよう適切にエフォートを管理するものとする。

2 本制度を利用した研究者は、バイアウト制度の利用による業務の代行が完了後、速やかに所属キャンパス窓口を通じて、バイアウト結果報告書を学長に提出するものとする。

(改 廃)

第8条 この規程の改廃については、学長を経て理事長の承認をもって行う。

(雑 則)

第9条 この規程に定めるもののほか、バイアウト制度の運用に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この規程は、2024年9月24日から施行する。

学長 殿

所属・職名

氏名

バイアウト制度利用申請書

「帝京大学における競争的研究費の直接経費から研究以外の業務の代行に係る経費の支出（バイアウト制度）に係る規程」第6条第1項に基づき、所属長の合意を得た上で、バイアウト制度の利用を希望しますので、以下の通り申請いたします。

1. 競争的資金制度について

研究課題名	
研究種目	
課題番号	
研究期間	年 月 日～ 年 月 日
備考	

2. 代行する授業について

バイアウトを実施する年度	年度
代行する授業 (※ライフデザイン演習は対象外)	<input type="checkbox"/> 確定・ <input type="checkbox"/> 未確定 ※代行する授業を「担当科目」欄に記入（未確定の場合は現時点での予定） ※代行する者（候補者）がいる場合は「授業の代行を行う者」欄に記入
担当科目①	科目名： 学 期： <input type="checkbox"/> 前期・ <input type="checkbox"/> 後期・ <input type="checkbox"/> 通年・ <input type="checkbox"/> その他（ ） 範 囲： <input type="checkbox"/> 当該科目の一部を担当・ <input type="checkbox"/> 当該科目のすべてを担当 (※当該科目の一部を担当する場合、代行予定回数： 回)
担当科目②	科目名： 学 期： <input type="checkbox"/> 前期・ <input type="checkbox"/> 後期・ <input type="checkbox"/> 通年・ <input type="checkbox"/> その他（ ） 範 囲： <input type="checkbox"/> 当該科目の一部を担当・ <input type="checkbox"/> 当該科目のすべてを担当 (※当該科目の一部を担当する場合、代行予定回数： 回)
担当科目③	科目名： 学 期： <input type="checkbox"/> 前期・ <input type="checkbox"/> 後期・ <input type="checkbox"/> 通年・ <input type="checkbox"/> その他（ ） 範 囲： <input type="checkbox"/> 当該科目の一部を担当・ <input type="checkbox"/> 当該科目のすべてを担当 (※当該科目の一部を担当する場合、代行予定回数： 回)
担当科目④	科目名： 学 期： <input type="checkbox"/> 前期・ <input type="checkbox"/> 後期・ <input type="checkbox"/> 通年・ <input type="checkbox"/> その他（ ） 範 囲： <input type="checkbox"/> 当該科目の一部を担当・ <input type="checkbox"/> 当該科目のすべてを担当 (※当該科目の一部を担当する場合、代行予定回数： 回)

授業の代行を 行う者（候補者） （ <input type="checkbox"/> 未定）	氏名（フリガナ）	本務先・職名
備 考		

※資金配分機関が定める支出上限額がある場合は、上限額を考慮して申請してください。

※交付される直接経費額、申請時点での直接経費残額をご確認の上、申請してください。

別紙様式 2

年 月 日

申請者
殿

帝京大学
学長

バイアウト制度利用申請結果通知書

年 月 日付けで申請のあった件について、「帝京大学における競争的研究費の直接経費から研究以外の業務の代行に係る経費の支出（バイアウト制度）に係る規程」第 6 条第 3 項に基づき、以下の通り、実施の可否について決定しましたので、通知いたします。

1. 決定結果

可 ・ 否

2. 備考（条件等）

学長 殿

所属・職名
氏名

バイアウト結果報告書

年 月 日付けで承認のあった件について、「帝京大学における競争的研究費の直接経費から研究以外の業務の代行に係る経費の支出（バイアウト制度）に係る規程」第7条第2項に基づき、バイアウトにより得られた研究上の効果について、以下の通り報告いたします。

1. 競争的資金制度について

研究課題名	
研究種目	
課題番号	
研究期間	年月日～年月日
備考	

2. バイアウト制度の実施内容について

代行を行った授業科目名	代行を行った回数
	回
	回
	回
	回
	合計 回

3. バイアウトにより得られた研究上の効果（具体的に記載。関連資料があれば添付のこと）

--